

家族介護教室

参加
無料
定員40

「住み慣れた地域で暮らしていくための医療と介護」

内 容：松山市の高齢化の状況や、現在どのような取り組みをしているか、
また後半は「人生会議」についてお伝えします。

「人生会議」とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアの内容について、
事前に家族や医師などの信頼できる人たちと話し合うことをいいます。

日 時：令和6年3月30日（土）10時～11時
受付開始（9時30分～）

場 所：東雲公民館（2階 大会議室）

連 絡 先：地域包括支援センター東・拓南
松山市築山町5-11

Tel：915-7760 FAX：915-7763



キリトリセン

家族介護教室申込書

申込×切3月25日

氏名 _____ 氏名 _____

住所 _____ 住所 _____

電話 _____ 電話 _____

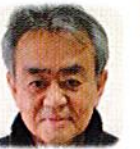
※申込について、東雲公民館に設置してある投書箱に投函いただくか、
地域包括支援センター東・拓南 ☎ 9 1 5 - 7 7 6 0 までご連絡下さい。

しののめ福祉だより

－ 編集・発行 －
東雲地区社会福祉協議会
会長 宮本 教男

ご挨拶

東雲地区社会福祉協議会 会長 宮本 教男



地区社協とは、「地域福祉に関する問題や課題を解決するための任意の団体です。」
それでは、地域福祉とは何でしょう？「高齢者福祉」「児童福祉」「障がい者福祉」などとは異なるのでしょうか？
「高齢者福祉」「児童福祉」「障がい者福祉」などは「支援する人」と「支援される人」が固定的なイメージがあるように思いますが、「支援する人」と「支援される人」が時によって立場が変わることがあっても良いように思います。例えば、障がいのある人はお世話になるだけではなく、他の人を助けることもあると思います。障がい者の存在自体が、周りの人の生を支えていることもあります。

ある本に地域福祉とは「地域社会の中で、家族や近隣の人びと、知人、友人などとの社会関係を保ち、自らの能力を最大限に発揮し、誰もが自分らしく、誇りをもって、家族および地域社会の一員として、普通の生活、暮らしを送ることができるような状態を創っていくこと」であるとありました。

そのような地域福祉のため、東雲地区で地域の人々の結びつきを深めるための助け合いや交流活動を盛んにすることに協力していきたいと考えています。どうぞ今後ともよろしくお願いします。

松山市の「福祉・子育て相談窓口」の紹介

平成24年7月から市役所別館1階に開設された「福祉総合窓口」は、平成30年8月から『すくすく・サポート市役所』を開設してリニューアルしたことから、名称を「福祉・子育て相談窓口」に変更して、各種の相談業務を実施しています。その業務内容等をご紹介します。

なお、開庁時間は、平日の8:30～17:00（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）です。

相談業務	内容	電話番号
高齢者相談	高齢者に関する介護保険などの一般的な相談	948-6593
障がい者総合相談	身体、知的、精神、発達障がい、高次脳機能障がいや難病の方の相談	943-6307
保育・幼稚園相談	保育所、幼稚園、認定こども園等の入園に関する相談	948-6774
自立相談支援窓口	生活する上で経済的に困っている方の相談	948-6875
生活福祉資金相談	低所得世帯等への貸付相談	941-4232
ひとり親自立支援相談	ひとり親への就職、福祉資金の貸付相談	948-6749
婦人相談、家庭児童相談	DV、養育費、子どもの養育などの相談	948-6413
すくすく・サポート市役所	妊娠期から子育て期にわたる妊娠・出産・子育ての相談	948-6343

※ それぞれの業務に関する問い合わせは、松山市コールセンター(946-4894)または、業務担当課に問い合わせてください。

『人とのつながりの中で』

松山市立東雲小学校 校長 西岡 香恵



東雲小学校は、「自ら学び、持ち味を発揮しながらつながり合う東雲の子の育成」を目指し、日々の教育活動を行っています。私が本校に赴任して、間もなく2年が終わろうとしています。毎日のように、児童の教育活動に直接関わる支援や、安全・安心な活動のための見守り支援、児童が生き生きと活動できる整った環境づくり等のために来校して下さる方がいらっしゃいます。感染症対策のため人の出入りが制限されていた時期を除き、本校教職員と児童だけで過ごした日が、一日でもあったらと思うほどです。冒頭に『東雲小学校は、』と書きましたが、学校だけでなく、保護者や地域、関係諸機関の様々な方のご支援があってこそこの「東雲教育」であると実感する毎日です。

1人1台タブレット端末が配備されたことにより、数年前と比べ、授業や活動におけるICT活用場面は、格段に増えました。しかし、人と出会い触れ合う体験が極端に少なかった数年を経て、今思うのは、子どもたちの心の成長や実感を持った学びには、ぬくもりのある「人とのつながり」が不可欠なのということ。子どもたちは、そのつながりの中で、自分を大切に思ってくれる人がたくさんいることに気づき、自分も周りの人も大切にしようとする心が育つのだと思います。

東雲っ子の周りに、いつも温かいまなざしで子どもたちの成長を見守って下さる方々がいることに感謝しながら、これからも教職員一同、笑顔あふれる学校づくりに尽力してまいりたいと思います。



〈左:地域の方と一緒に校外学習に出かけたよ
右:戦争中の暮らしについて話してもらったよ〉

『助け合う地域づくりをめざして』

東雲地区自主防災会連合会 会長 藤島 寛昌



日頃より、地域にお住いの皆様には防災訓練等にご参加、ご協力いただきありがとうございます。

松山市内には自主防災組織が747組織あり、組織をまとめた連合会が41地区あります。東雲地区では、34人の方が地区の防災士として活躍しています。東雲地区自主防災会では毎年12月に実際に災害が発生した時を想定し、地区防災士を中心に防災訓練を実施しております。令和4年度は、松山市総合防災訓練が東雲地区で、盛大に行われ、体育館での避難所開設を目的に訓練を実施したおかげで、避難所開設マニュアルが完成しました。また、令和5年12月3日(日)に実施した防災訓練では、約200人の東雲地区住民の方々にご参加いただき、マンホール仮設トイレの使



〈令和5年度防災訓練〉

い方や避難所開設に伴う段ボールベッドの作り方、AEDの使い方や毛布での担架の作り方などを学び実践しました。

令和6年1月1日に能登半島地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。我々も、南海トラフ地震が発生することを想定し、日常的に危機意識を高めて、いつ災害が起きても対処できるように備える必要があります。自分が自分を守ること、防災訓練に参加して地域の人とのコミュニケーションを大切に、いざという時の準備を怠らない事が大切です。今後、東雲地区自主防災会連合会を中心に、地区の防災士の連携をさらに強化し、助け合う地域づくりを目指したいと考えております。

我が街自慢 No.23

東雲地区の守り神

～松山東警察署～



〈現在の東警察署〉

東雲公民館のすぐそばに建っている県内最大規模の警察署「松山東警察署」は、日頃から「東署」として地域の住民に親しまれています。東署は、昭和15年に南堀端から現在の勝山町に移転してきました。

昨年新築された現在の東署は、現在地の建物としては3代目となります。昭和43年まで建っていた初代の東署は、重厚な建物の角にずっと立ち上がった塔があり、その上部に城の天守閣を思わせる千鳥破風付きの屋根のある立派な外観で、60歳代以上のの人にとっては懐かしい建物だと思います。

東署は東雲地区のほぼ中央部に位置し、地域の安心・安全を見守ってくれている守り神のような存在です。これからも変わることなくずっと見守り続けていってくれることと思います。



〈昭和15年～昭和43年の東警察署〉



サロンに突撃取材!



現在、東雲地区では3つのサロンが仲間づくりや健康を保つための活動を行っています。東雲公民館での活動の一部を紹介します。

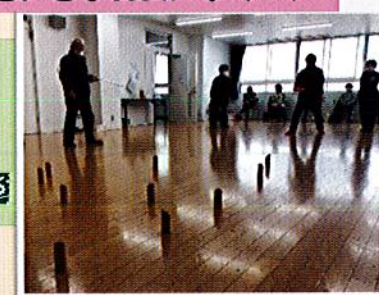
いきいきふれあい和サロン



毎月3回 水曜日
10:00～12:00 体操や脳トレ(毎月最終週は生け花)
13:00～15:00 編み物

毎週火曜日
10:00～11:00 体操や脳トレ
(毎月1回レクリエーション)

いきいきふれあい夢サロン



城下町サロン



毎月第2・4木曜日10:00～11:30
クラフトカゴ作りやレクリエーション

輪投げやモルックなどのレクリエーションで身体を動かしたり、サロンで作った作品を文化祭で展示するなど、色々な活動をされていました。

※詳細は各サロンの代表者までお尋ねください。

